



学塾通信 10月号 (第82回)

～学塾は一人ひとりが目標に向けて真摯に取り組む教室である～

10月14日(月)は祝日開校日です。

10月29日(火)～31日(木)は調整休校日です。通常授業は実施しません。

受験まで残り半年を切りました。高校受験生も受験校を決める時期です。

中学3年の1学期までに学習した内容については、夏期講習会でひと通り演習をしました。自主学習で必ず復習をしておいてください。

今年の3年生は決められたことには真面目に取り組む生徒が多いのですが、自主学習に課題が残ります。決められたこと以外のことに取り組むところがあまり見られません。夏期講習会で使用した教材に再び取り組むこと、自主課題の内容を計画的に進めること。この二つはこれまでも繰り返し言ってきましたが、それにもう一つ加えると「模試の復習(やり直し)」です。

9月15日に模試を受けましたね。受けっぱなしになっていませんか？ テストの結果を見て一喜一憂するだけでは意味がありません。模試は「このような問題が入学試験に出ますよ」と参考にするものです。ですから、間違えた問題をやり直すことで実力が身につきます。理想を言えば、模試だけをファイリングしておいて一度だけでなく数回やり直しをするとよいです。

ここから先は、覚えるべきことは確実に覚え、正答率が高い問題で失点をせず解き切る。まずはそれが重要です。難関校を目指す受験生は、さらに受験校に特化した対策もしていきましょう。

年明けの1月末までにひと通りの勉強を終え、最終確認をして2月の入試に臨むことができれば、良い準備ができていると言えます。

「勉強をしたい(したくない)」「部活が忙しい」。そんなことを言っている時期はとっくに過ぎました。受験勉強を最優先してください。

合格したくない受験生などいません。みなさんもそうでしょう。

学校の先生が「まず大丈夫だろう」と言っているけど、当日の出来次第では合格圏に入らず、その反対に「厳しい」と言われていた生徒が圧倒的な努力で逆転合格することもあります。入試に絶対はありません。入試が終わった後に「ベストは尽くした。あとはどんな結果になっても悔いはない」と合格発表を待つことができるよう準備をしていきたいですね。

みんなに合格してほしいというのはもちろん、やるべきことを本気でやり切る人になってほしいという思いがあります。うれしいこと、楽しいこと、悔しかったこと、精一杯頑張ったこと、その一つひとつが将来の糧になります。高校受験もその一つです。

☆小学生☆

当日の欠席、振替が多いことが気になります。

振替授業に三つの規制を設けています。その理由は塾の優先順位を下げてほしくないからです。

振替ができるとなると、友達と遊ぶなどの理由で欠席をする人も出てきます。

通常授業は各担当がつき、毎週1回授業をすることで成り立っています。しかし、振替授業では担当者が変わるなど引継ぎが発生するため、必ずしも通常授業と同じにはなりません。

やむを得ない場合は仕方ありませんが、そうでなければ通常授業を優先していただきますようよろしくお願いいたします。

○演習コースのご案内.

すららを利用した「演習コース」という形での授業を希望される方が増えてきています。演習コースでは1:2の通常授業にすららを教材として使用することができます。それに加えて自宅ですらら学習や塾での自習時にもすららを使うことができます。

すららを使うことの大きなメリットは「楽しみながら学ぶことができる」「徹底した反復練習ができる」ことです。このシステムを導入して4年、生徒に「ただタブレットを見ておいてね」と自由に見せているだけでは効果が薄く、そこに講師の関りがあってはじめて成果につながるようになりました。

決して理解できていないわけではないがもったいないミスが多いなど、問題を解く経験を積むことが必要なお子様には特に有効です。体験授業もできますのでご興味のある方はお声がけください。

☆中学1・2年生☆

公立中学、中学2年生のみなさんはあと半年もすれば受験学年になります。

テスト前には勉強をしなければならないという意識はあるようにみえますが、それ以外の学習時間が圧倒的に少ないです。しかし、テスト前だけ頑張ったとしても「現状維持」止まりになることが多いです。

塾や学校の宿題は取り組むのが当たり前で、さらに一步踏み込んでプラスαの学習ができるかどうか伸びるポイントになります。

できるかできないかは、頑張るやろうと思えるかどうかという気持ちの問題だと思います。自分で高い意識を持って頑張れる人はよいですが、そうでなければ時間と曜日を決めて学塾に自主学習に来る日を固定するのがよいです。

現状維持で満足することなく、ひとつでもできることを増やそうという意識を持って学習に取り組んでください。



☆中学受験生☆

6年生は受験校の過去問を解き始めています。

「時間内にできる」「解くべき問題が取捨選択できる」「合格点を超える」。この三つをこれから目指していきます。

毎週1年分の受験校の過去問が宿題として出されます。合格点との差を測るために以下の二つを守ってください。

- ・時間を計って解く。
- ・〇つけは講師の先生に任せる。

ここからは受験校の出題形式を考えつつ、受験勉強を進めていきます。

残り5か月ほどで統一日を迎えます。ここから一段ギアを上げて取り組んでいきましょう。

○模擬テストについて

五ツ木の模擬テスト(5年生・6年生)

9月29日(日)

模試受験後は必ずやり直しをしましょう。

☆高校受験生☆

夏期講習会の数学で使用した「精選一行問題集」は非常によくできた問題集です。

入試までに一日一つの都道府県に取り組むようにしてください。各学校の入試問題でも出題されるものばかりです。取るべき問題を確実に取るトレーニングには最適です。

模試や実力テストで数学の大問1を取り切ることができない人は、毎日一つ取り組んでください。きちんと続けられれば、大きな成果を手にする事ができるでしょう。

○模試の案内

五ツ木模試 10月13日(日)

必須受験です。

○進路面談について

2学期の中間テスト後から、希望される方に進路面談を行います。

今回は原則3者面談の形になります。面談アンケートを配布しますので確認をお願いいたします。

なお、面談を希望されない方も「希望しない」に✓を入れて提出をお願いいたします。

☆大学受験生☆

これからの時期に大切なことは、限られた時間のなかで「何を優先すべきか」を考えることです。

夏前に立てた予定の通りに進んでいるのであれば、おそらく志望校対策にすんなり入ることができる状況になっていると思います。そうでない場合は残りの期間を考え取り組むことを絞り込み、冬には志望校対策に入ることができるようにしておく必要があります。

今月末からはAO入試が始まります。「早く進路を決めたい」と思う気持ちもわかりますが、あくまでも一般入試を見据えて気持ちの整理をしていきましょう。

学塾【URL】 <http://gakujyuku.com> 【FACEBOOK】 <https://www.facebook.com/gakujyuku>
【Instagram】 <https://www.instagram.com/gakujyuku/>